

岩ネット



岩ネットに参加して 新座山の会 岡本静江記

7月13日(土)県連岩ネット主催の岩トレに参加しました。西武線の高麗駅で下車し、鹿台橋を渡るとすぐ左に曲がり、右側の民家の間を抜け、山道に入り、2,30分ほどでゲレンデに到着する。たぶん日和田山の中腹辺りになるのであろう。樹林のなかに男岩と女岩があり、クライミングの練習場になっている。

初心者の私には解らないが小さなゲレンデではあるがルート数が多くあり、変化に富んで楽しめるといわれているらしい。

いつも簾のようにロープが下がっているのをみても人気があることが伺われる。

今日は3連休の初日で、山に出かけた方が多いのだろう。参加者は講師を含め6名。身支度を整え、講師から今日の予定の説明を受け、参加同意書に署名をして、男岩南面に移動する。男岩は下から見上げると、とても高く、高度感のある岩である。

登れるのかな。一瞬引いてしまう。先にビレーをする。Oさん私のビレーでは不安かな。覚えたビレーが何か変。手順が一つ抜けている。再度講師に確認をして無事に役目を終える。

次は登る番。手を開き、岩から体を離し、足元をしっかりと確認し、体重移動をし、足でのぼる。靴を外に出す。何とか理解はするが体がついていかない。どうにか完登して、テンションをかけておける。

これがまた大変。私は素直にまっすぐ降りているつもりであるが下りるにつれ左寄りになり振られてしまう。足場を選ばないと習うが楽そうに見える方に意識が行ってしまう。

2本目は少し難しい所を選んでいくが岩に引っかかったロープをはずそうと懸命になっているうちに手の力がなくなり中間辺りで諦めて降下(ト・ホ・ホ・)

午前の最後は岩の上部でビレーをしてもらい、ハングを越えて岩の上部に上がる。

下を覗くとかなりの高度感がある。降下開始。

ハングの一步にもたつくが何とか地に足を下ろし、昼食タイムとなる。

午後は西面に移り練習をする。ここには松ノ木ハング、重箱などという難しいところがあり、夏山訓練なのだろうか登山靴で登っているグループがある。そんな中で比較的安易なところを選んで登るが、南面より直立で難しいと感じる。

2度登り今日の練習は終了。

思うようにならず難しいがそこが面白くもある。

ご指導ありがとうございました。良い講師陣に恵まれて、少しずつでも進歩するように回を重ねて行きたいと思いません。これからもよろしくおねがいいたします。

次回が楽しみです。

